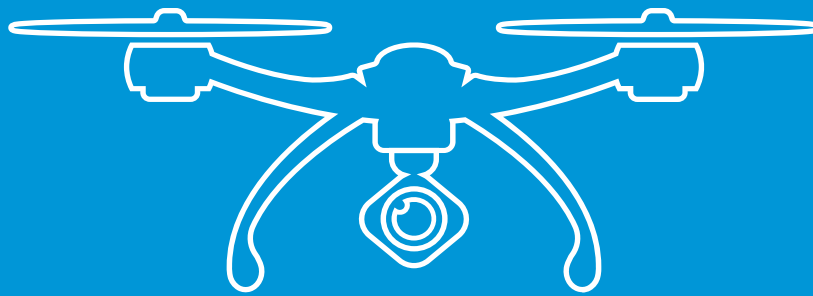




スマートな在庫棚卸



ダウンタイムも 外部ヘルプも 手作業での棚卸も すべて解決

Westernacherの实地棚卸ソリューション「We count | PI Drone」により、在庫カウント時間を大幅に短縮し、コストを削減するとともに、業務のダウンタイムも回避できます。弊社の先進的かつユーザーフレンドリーな飛行技術が、棚卸プロセスを変革し、監査効率を向上させます。「We count | PI Drone」のインテリジェントセンサーにより、ドローンが倉庫内を素早く安全に飛行し、搭載されたHDRカメラで情報をリアルタイムにキャプチャします。また、SAP EWMとの完全統合により、システムの情報がシームレスに更新されます。業務を停止することなく、エラー率も抑えられ、外部のサポートに頼る必要もありません。ドローンが単独で、自動的に、正確な棚卸を行っている間、通常通りの業務を継続できます。



従来の棚卸作業が 不要に

世界中の倉庫が24時間365日稼働している今日、納期厳守と監査準拠の上でも実地棚卸は非常に重要です。高層ラック倉庫での従来の棚卸作業は、コストも時間もかかります。少なくとも、リフトトラック、そして内容物を確認する作業員の2つのリソースが必要です。さらに、棚卸は営業時間外に行われることが多く、時間外手当が発生します。手作業による人的ミスも避けられません。Westernacherの「We count | PI Drone」は、こうした棚卸の問題を解決する最新のソリューションです。



We count | PI Drone がもたらすメリット

高騰するコストを 抑制

倉庫によっては、毎月または四半期ごとに棚卸を行う必要があります。マテハン機器（MHE）を使った従来の棚卸はコストのかかる作業です。「We count | PI Drone」がそのコストを大幅に削減します。

サードパーティの 仕事をドローンへ

一部の企業にとっては耳の痛い話かもしれませんが、手作業による棚卸がサービスの一環となっている場合にはなおさらです。ですが、倉庫を運営する企業にとっては朗報です。「We count | PI Drone」は、完全自動の棚卸業務を提供します。必要なのは、充電ステーションと、SAP EWMとのシームレスな連携だけです。

SAP EWM向けの 設計

SAP EWMをすでに導入済み、または導入を検討中の企業にとって、SAPシステムと完全互換のドローンは不可欠です。「We count | PI Drone」はSAP EWM向けに設計された初のドローンで、既存の倉庫業務プロセスとシームレスに連携し、完全な統合を実現します。

すべてをカウント

「We count | PI Drone」搭載のHDRカメラが目的地のラベルコードをスキャンし、システム上の棚番、SKUコード、HUコード、数量を自動的に更新します。カメラによる読み取りで人的エラーを排除し、監査精度を確保できます。また、空棚も含めた正確なカウント・報告が可能です。キャプチャされたすべての情報は、SAP EWM上の実地棚卸伝票番号と照合され、更新されます。

ドローンが行き先を把握

オペレーターの指示を受け、棚入れ場所を正確に特定し、自動で施設全体の実地棚卸を行います。ドローンに搭載されたインテリジェントセンサーにより、倉庫内の指定保管棚まで素早く安全に飛行し、必要な情報をキャプチャします。

ドローンの飛行中に業務を継続

「We count | PI Drone」による棚卸が通常の業務に支障を来すことはありません。棚卸中も日々の業務をいつも通りに継続できます。

情報を一元管理

「We count | PI Drone」がキャプチャしたすべての情報は、実地棚卸用のシンプルでユーザーフレンドリーなFioriインタフェースからいつでも確認できます。

秒単位で棚卸を完了

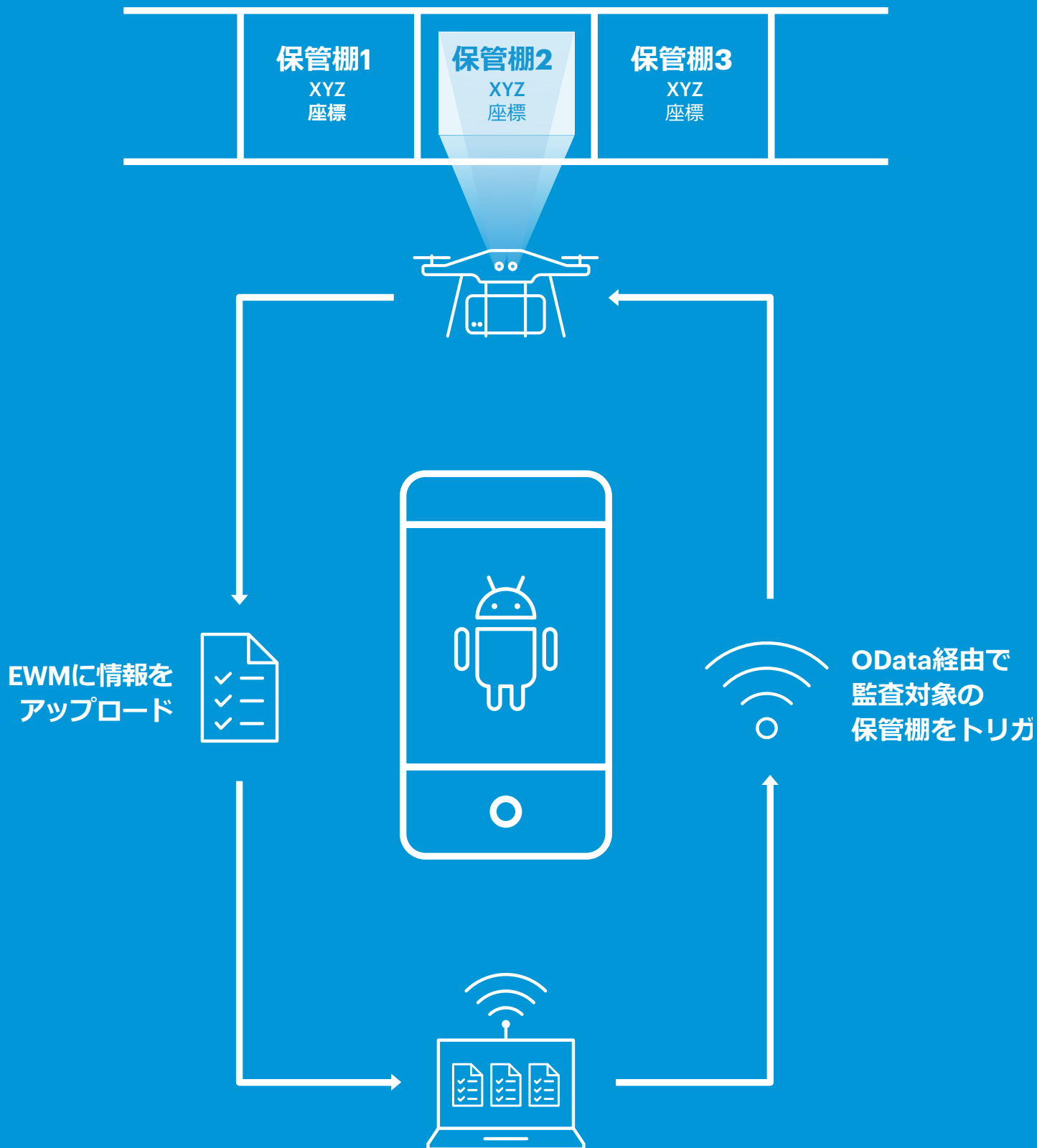
監査開始から保管棚情報の更新まで、ラックの高さに関係なくパレットの棚卸がわずか30秒で完了します。作業のスピードアップで貴重な時間を節約できます。

We count | PI Drone の仕組み



SAP EWM（Fioriフロントエンド）上で、監査対象の保管棚の座標が選択されると、その情報はアンドロイド端末上の「We count | PI Drone」アプリへ送信されます。そのデータは無線通信によりドローン本体に転送され、準備が完了次第、ドローンはXYZ座標に従って指定の保管棚へと自律飛行を開始します。各保管棚に到着すると、ドローンは保管棚バーコード、HUバーコード、SKUバーコードなどの関連情報をスキャンし、アンドロイド端末へ送信します。その後、その情報はOData経由でSAP EWMに転送されます。取得されたデータは、SAP EWMの実地棚卸伝票と照合のうえ記録され、システム上の在庫情報と比較されます。デューデリジェンスを経て、必要に応じて在庫調整が行われます。この一連のプロセスにより、倉庫における実地棚卸作業が大幅に効率化されます。

各保管棚の座標をXYZ形式で記録



Let's get started.

山内 尚彦

コンサルティングユニットリード（日本・韓国）

E. naohiko.yamauchi@westernacher.com

M. +81 80 3249 5709

www.westernacher.com/ja